

No.137

2015.12.25

# 朋友だより

今年最後の朋友だよりです。  
今年一年、朋友だよりをお読みいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。  
最後に辿り着いたのが「個性の尊重について」です。  
ご参考になれば幸甚です。

2015年12月

(有)コンサルタント朋友  
代表取締役 奥長弘三



## 個の尊重について



### 個の尊重の歴史

朋友だより前号(136号)の最後で経営指針の個人目標について述べました。それを受け、今回は個の尊重について考えてみます。

憲法13条には「すべての国民は個人として尊重される」とあります。日本の歴史において、いつ頃から個人が個人として尊重されるようになったのでしょうか。

樋口陽一著『個人と国家—今なぜ立憲主義か—』(集英社新書2000年11月)によると、近代国家成立の頃(日本でいうと明治政府の成立)だそうです。(同書P.59~60)それまでは身分制の秩序に縛られ個人は封じ込められていました。その個人を封じ込めていたものを国家がばらばらにして、いわば個人をつくり出したのです。

国家は個人にとってはまず解放者だったのです。しかしこの解放者は今度はひょっとすると全面的な支配者になりかねない。いったんそうなる国家は飛び抜けて強い存在になるわけですから、今度はその国家の出番を抑える国家からの自由が必要になってくる。だから個人の方から様々なルールをつくり—立憲主義ですね—国家を縛る。これが近代社会の描くモデル的なイメージです。(同書P.60)

個人が個人として尊重される社会を確立する為には、国家の権力を制限する立憲主義が重要です。各自が憲法を正確に理解することが不可欠のものとなります。

個の尊重といった場合、2つの側面があります。一つは心の自由の領域での個人と、今一つは経済活動の領域での個人です。

### シールズ(SEALD<sup>S</sup>)の活動に注目

個を大切にすることに関連して、現在日本で進行している偉大な動きに注目しています。若者や若いママさん達が自分の意思にもとづいて声をあげ始めているのです。安倍政権による安保法制の国会での「強行採決」などの憲

法を無視した動きに対し、それに異議を唱える運動が展開されています。日本の歴史始まって以来のことと言って良いでしょう。

その一つにシールズがあります。シールズは自由と民主主義の為の学生緊急行動であり、今までの運動と異質な運動を展開しています。

大月書店刊『SEALD<sup>S</sup> 民主主義ってこれだ!』(2015年10月)で運動の流れを知ることが出来ます。以下は同書からのものです。同書には19名の若者が登場しますが、一人ひとりが自分の言葉でしゃべっています。

一人ひとりが自分の自由意志で参加しており、彼らのやり方は、①生活の延長線上に政治や民主主義をとらえる、②一人ひとりができる場所でできることをやるのが基本です。

生活の延長線上に政治や民主主義をとらえようとする地理的、経済的、時間的に様々な制約が生まれます。そうした制約の中で、自分がどう行動するか、一人ひとりができる場所で行うこととなります。

街頭でのデモが主要な表現方法です。

シールズ東北、シールズ関西、シールズ琉球、シールズ東海といった具合に、その動きは全国に広がっています。

彼らは日本の自由と民主主義の伝統を守る為、従来の政治的な枠組みを越えたりベラベラな勢力の結集を求めています。

その影響の拡がりにはシールズが今年の流行語大賞のベストテンに入ったことにも現れています。

現代の若者達は、ともすると政治に無関心であり、何事にも消極的だと非難されることが多い現在の日本社会の中で、シールズに代表される若者達の運動は実に見事であり、敬意を表したいと思います。



## 企業内における個の尊重

個の尊重のもう一つの側面、経済活動の領域での個について考えて見ます。現代社会では普通の人々は企業に雇用されて、生活の糧を得ています。その企業の中で一人ひとりの働く人の個が尊重されるかどうかの問題です。

中小企業においては近年好ましい徴候が各地で見られるようになってきました。

仕事の遂行そのものにおいて、個性が尊重されることが大切です。各自がそれぞれの能力、個性によって働くことで、企業の業績向上に貢献するものです。

経営指針が作成されており、それに基づく目標管理、即ち目標と自己管理によるマネジメントが実践されることが最も確実な方法と言えます。

人間は自分が理解・納得した目標に向けては全力投球して、目標の達成に努力する者です。それによって職業上の能力が向上すると共に、人間性も磨かれます。

しかし、本人が真に理解・納得した個人目標を持つ事は、それほど簡単なことではありません。目標管理が真に軌道に乗るためには、いくつかの困難を乗り越える必要があります。

主な困難は次の3点です。

1. 経営指針の成文化
2. 経営指針の内容を社員一人ひとりが正確に理解・納得すること。

その為に経営指針の作成の段階から、社員の声を聞き、社員と共につくる姿勢が望まれます。

3. 上記を前提にした上で、個人目標を設定すること。

この時上司及び周囲の支援が貴重な役割を果たします。

特に第2、第3項目が重要です。

幹部社員、管理職社員には配慮されますが、一般社員の一人ひとりについてそこまで配慮されず、「その他大勢」扱いとなるケースが意外と多いようです。一般の中小企業では、その為に必要な時間をとる余裕がないのが実情です。

しかしこの困難を乗り越えることで、それぞれの企業は新しい境地に到達することが出来ます。それだけの手間暇をかけるかどうかが問われるのです。

社員一人ひとりの個性を尊重するというのが、

これからの企業のあるべき姿でしょう。

## 社会の豊かな発展の為に

社会が豊かに発展する為には、一人ひとりの人間の尊厳と能力の全面的な発揮が欠かせません。その為には自由と民主主義を守ることが求められます。一番の拠り所が憲法です。

私達、日本人がこの憲法に辿り着くには、明治時代の自由民権運動以来の長い歴史が必要でした。

昭和の時代になって、国民の自由と民主主義が求める声を徹底的に弾圧した上で、政府・軍部が引き起こした無謀な太平洋戦争は、1945年ポツダム宣言を受諾して終結しました。ポツダム宣言では、民主主義の復活強化を阻む一切の障害を除去及びファシズム(軍国主義)の一扫等が要求されています。

これを受けた形で日本国憲法が制定されました。1946年です。

この憲法は生まれた直後から、その完全実施を求める大多数の国民の声と、その実施を阻もうとする権力を握った勢力との戦いの渦中に置かれました。

そして戦後70年、自由と民主主義を目指す国民の運動は様々な流れを合流させ、一つの巨大な流れになろうとしています。

自由と民主主義を守るには国民一人ひとりの自覚的な努力が欠かせません。

憲法12条には「この憲法が国民に保障する自由及び権利は国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」とあります。

人間の尊厳を守ること、そして各自が自分の能力を全面的に発揮することに努めることは、自由と民主主義の伝統を守る不断の努力と直結しています。

これらの努力が私達の日本及びそれぞれの地域社会を豊かなものに発展させることとなります。



## 岩上商事株式会社

(東京都江東区：代表取締役 岩上 浩之 氏)

明治39年(1906年)化学工業薬品及び薬品容器の販売を個人商店として創業以来、109年の歴史を誇る老舗企業です。現在の岩上浩之氏は四代目社長です。社長を引き継いで8年目になります。従業員数8名。

同社の取扱い商品は、化学工業薬品、包装資材全般の販売、空調用洗浄剤の販売及びメンテナンスです。社有地の有効利用として不動産の賃貸業も営んでいます。基礎化学品(原料)が、同社の最も得意とするものです。

創業以来、お客様を大切にすることが同社の基本です。同社の顧客の半数以上が、昔からの顧客であることがこのことを如実に示しています。

しかし、顧客のニーズの変化に確実に対応しているかということになると、ニーズの変化がめまぐるしいだけに、これからの大きな課題でしょう。

経営理念の「心・技・共に成長し、豊かな発想で挑戦し続ける」を前面に掲げ、21世紀に通用する新しいタイプの商社にむけて、挑戦が始まろうとしています。

素晴らし経営理念のもと、全社一丸となつての同社のこれからの活躍が期待されます。

### 経営理念

「社員第一主義」と「利他の追求」を共にし、  
心・技・共に成長し、豊かな発想で挑戦し続けます

お問い合わせ : 岩上商事株式会社  
〒136-0071 東京都江東区亀戸1丁目8番9号  
TEL. 03-3681-5255(代) FAX. 03-3681-9220  
<http://www.iwakami-kk.co.jp/>

～\*～ あとがき ～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～

朋友だより137号をお届けいたします。

フィギュアスケート・グランプリファイナルで羽生結弦選手の3連覇の試合をTV視聴しました。試合結果をニュースで知った後ではありましたが、その心技体の充実、芸術性の高い氷上の演技に目を奪われました。フリー演技の音楽は映画「陰陽師」から『SEIMEI』。荘厳かつ雅な調べにのつてのジャンプやステップ、スケーティングの素晴らしさに加え、真に何かの降臨があつたような幽玄の世界を見るようでありました。向上心旺盛な羽生選手のこと、更なる進化も期待してしまいます。皆様、どうぞ良い年をお迎えくださいませ。(野上)



## 朋友

有限会社 コンサルタント朋友  
〒113-0022 東京都文京区千駄木3-36-11  
千駄木センチュリー21 602号  
TEL. 03-5815-3021 FAX. 03-5815-3022

e-mail [foryou91@tokyo.email.ne.jp](mailto:foryou91@tokyo.email.ne.jp)  
URL: <http://www.consultant-hoyu.co.jp>